



新潟県作業療法士会ニュース

朱鷺

No. 18

新潟県作業療法士連盟の未来は…？

上越総合病院 横田 剛

2009年に日本作業療法士連盟が立ち上がり、すでに13年目に入りました。日本作業療法士連盟は職能団体としての日本作業療法士会の活動を政治的にサポートする必要性があるよね…といった趣旨から始まった取り組みでした。

あれからどれくらいの作業療法士がこの取り組みに参画してきたのかというと、実は少し切ない数になるのですが、いま日本作業療法士連盟に入会している作業療法士は900名に満たない状態です。新潟県に限ると9名です。やはり政治活動という言葉は特定の政治家を応援する選挙活動をイメージさせたり、政治家を使って自分たちに有利な仕組みを作る談合政治への加担を思い起こさせるからでしょうか。そんな世界には関わらず、清廉潔白に正しい事をしていれば必ず報われる…そんな風潮があるのかもしれませんが、世の中は政治が全てではなく、かつ、政治は関係ないとも言いきれない、なんとも中途半端で玉虫色の世界です。

例えば県知事、市長、町長、村長の権限は絶大であり、首長がかわると政策が180度転換するなんてことはざらです。でも、実働する行政職員がいなかったら首長だけでは何一つできませんし、首長の明確な指示なしで展開する地方行政は、てんでバラバラで行政職員だけに任せてはいけないということもわかっています。

職能団体としての新潟県作業療法士会がどんなに公益的な観点から政策立案をしたとしても、働きかける相手が行政だけでは限界があります。どうしても政治家への働きかけは必要になってきます。例えば作業的に公正な社会を作るための提言であっても、職能団体が政治家に働きかけるとそれは自分たちに有利な働きかけを行っていると思われるからです。

地方作業療法士連盟と都道府県作業療法士会の二人三脚で活動する以外に手がないと思うのですが、実はその設立に高いハードルがあって今とても困っています。とりあえず私が責任者となって、地方連盟を立ち上げ、新潟県作業療法士会を側面からサポートできればと考えていたのですが、連盟はしっかりと組織がないと団体として県に認めてもらえず、活動できないということが分かったのです。

直近では地方連盟の事務所をどこにおくか（個人宅にはしたくない…県士会事務局は不可…）。会計責任者を立てる！（横田が兼務は出来ない）の2点の課題があります。また、研修会でも開いて活動費を集めようと考えていたのですが、コロナでそれも行えず、手持ちのお金が全くないことも大きな課題です。

今後はコロナが収まって、集まって研修が行えるようになったら、連盟立ち上げ準備組織として、県内をまわり、研修会と説明会を行って活動資金を集めたいものです。事務所と会計責任者については、当てがない状態です。どなたか良い提案あればお願いしたいです。

第2回 新潟県リハビリテーション専門職合同学術大会 開催決定

大会テーマ

「地域共生社会へ向けた協働と挑戦」

日付：令和4年12月10日(土)・11日(日)

会場：新潟市 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

3年に一度の開催となるこの合同学術大会ですが、
今大会は(公社)新潟県作業療法士会が主幹となり開催いたします
会員の皆様の演題発表やご参加を心よりお待ちしております



握力が弱く物が握りにくい方への自助具

悠遊健康村病院 作業療法士 榎 本 康 佑

今回は、握力が弱くペンやスプーン、歯ブラシ等が握りにくい方への自助具を紹介します。

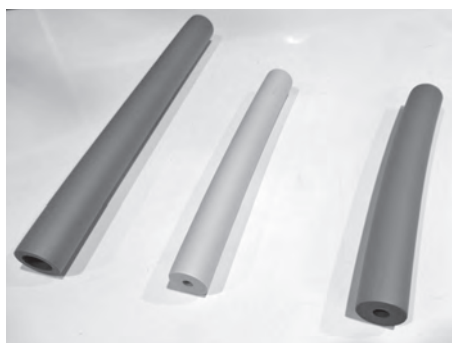
病気や事故等によって指先に力が入りにくくなり、ペンを持って文字を書くことが難しくなっている方や市販の柄の細いスプーンやフォークを使用している為、食事がとりにくい方はいらっしゃるかと思います。そんな方へ向けて今回は太柄スポンジを紹介します。

今回紹介する太柄スポンジは、様々な種類の製品が販売されており対応の幅が広いかと思います。ペンや歯ブラシなどは比較的、柄の部分が細くなっています。しかし、スプーンやフォークは製品によっては柄が太い物から細いものまで様々です。右下の写真のように差し込み口が様々です。また、スポンジのため伸縮性があるため、実際に使用したい物品よりスポンジが小さく多少きつくと差し込み使用することが可能です。(反対の場合は対応が難しいです) 右下の写真の様な製品では様々な物品に対応できますが、左下の写真のように専用の製品もあります。様々な物品に対して使用してみたいようであれば、専用の物ではなく、右下の写真の様な製品が良いかもしれません。また、これ以外にも、ホームセンター等で販売しているホースでも代用することが可能です。価格も安価であり必要な長さで購入できることは良い点かと思います。スポンジやホース共に柄が太くなり、滑りにくい素材のため握力が弱く握りにくい方でも目的の行為や動作の能力が向上するかと思います。

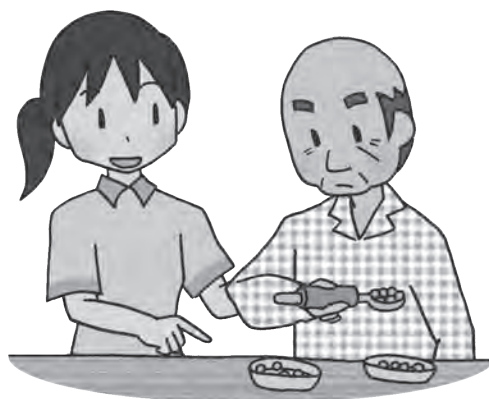
<使用時の様子>



<使用製品>



今回紹介した製品は一部であり、様々な代用方法が存在するかと思います。購入時に柄が太いものを購入することも良いかもしれません。お気に入りの物品がありそのまま使用したいようであれば、今回紹介したスポンジ等の使用も良いかもしれません。



施設紹介のページ



医療法人白日会 黒川病院

青 木 藍 水

当院は、昭和29年に開設された精神科病院で、県北に位置する自然豊かな環境にあります。急性期病棟、慢性期病棟、社会復帰病棟、認知症A病棟、認知症B病棟があり、病床数は合計269床です。そこに地域生活支援課も加わり、作業療法士8名が、それぞれの病棟、部署に配属され活動しております。

隣接する介護老人保健施設やまぼうしの作業療法士も加えて、1か月に1度ミーティングを開催しており、情報共有や事例検討などの勉強会を積極的に実施しております。また、スタッフ間では、プライベートなことも気軽に話せるアットホームな雰囲気もあります。

現在は新型コロナウイルスの影響もあり、実施出来るプログラムに制限がある状態ですが、ひとりひとりが工夫を凝らし、患者様にとってより良い治療が提供出来るよう奮闘しております。

作業療法室の基本方針

- 充実した生活を送るための作業活動を提供します
- 作業をとおして「こころ」と「からだ」を元気にするお手伝いをいたします



新潟聖籠病院

村 上 栄 一

当院は、蓮野ICを下りて運転免許センター方面のPLANT 4の向かいに2016年9月に新規開設した病院です。障害者一般病棟60床、回復期リハビリテーション病棟60床、療養病棟120床の合計240床、透析室のベッドは57床あり入院、外来を含め1日午前・午後2クールで透析治療を行っています。

リハビリテーション科は、PT20名、OT13名、ST9名のスタッフが在籍し、脳血管、運動器、廃用症候群、呼吸器を算定し、入院、外来リハビリを提供しております。脳血管疾患の方に対しては必要に応じて、自動車運転再開支援も行っており、退院後のフォローも併せて行っています。また、回復期リハ病棟にも人工透析を受けつつリハビリをされている患者様もおり、自宅復帰し元の外来透析通院に戻られた方だけでなく、当院の外来透析へ移行された方もおられます。OTとして施設、病院生活といった患者様の環境に即した生活を送れるようにADL場面など直接的な介入、生活の場として環境の調整などを行うことでQOL向上を図っています。

今後は、入院外来患者様だけでなく地域住民の方々の力になれるよう、病院理念である『地域の皆様の健康と医療に貢献できる病院を目指します。』のもと、地域包括支援システムの一端を担えるよう努めていきます。



令和 3 年度 第 6 回理事会（臨時）議事録

日 時：令和 3 年 11 月 4 日（木）20：00～21：00

会 場：Web開催

出席者：四方、石井、菊入、村山、一ノ本、吉井、
伊東、小山、佐藤、松岡、山倉（以上理事 11
名）水越、横田（以上監事 2 名）山中（記
録）

欠席者：能村、尾崎、門脇、北上、渋谷、山田（以上
理事 6 名）

I. 協議事項

1. イベントペイについて（村山副会長）

次年度以降の研修会参加費を徴収するにあたり、参加費徴収方法について協議。

・東京都士会はイベントペイを導入しており、システム利用料は参加者負担。コンビニ決済利用者がキャンセルをした場合、キャンセル料を振り込む必要があるため、キャンセル料は支払わない。（東京都以外にも同対応の士会あり）

・システム利用料の捉え方

220円（税込）と 38円（参加費 1,000 円の 3.5% + 税金）の両方を士会負担の場合、参加者一人につきシステム利用料：258円（220円 + 38円）が必要。

例）参加費 1,000円、定員 50 名の研修会を開催する場合、 $258円 \times 50人分 = 12,900円$ の手数料となり、1 年間の事業収入（研修会参加費）が 100 万円の場合、年間の研修会にかかるシステム利用料は、258,000円となる。

・予算計画作成にあたり、システム利用料は勘定科目のどこにあたるか。（村山副会長）

➡「手数料」に計上する。（吉井財務部長）

支出には、詳細として「振込手数料：〇円、イベントペイ利用料：〇円」と分けて記載。

1）次年度からイベントペイを導入する ⇒承認

2）システム利用料（税込 220円 + 38円）は県士会が負担する ⇒承認

<意見>

・半年が経過した時点での予算執行率が良くない状況で、10 月末時点の予算執行状況は 26% である。次年度は研修会費を徴収することから、1,000,000 円程の参加費が収入として入ることを考え、研修会を企画する委員会は、算段をつけて事業・予算計画を立てて欲しい。（水越監事、横田監事）

・今年度はコロナ禍の状況を見込んで予算計画を立て

た。それを考慮すると、今年度の執行率の方が悪いと言える。1 つの委員会で約 10 万円余った場合、20 以上の委員会があるため約 200 万円の余剰金が発生し、昨年度のように会員に返金する可能性も考えられる。（吉井財務部長）

・県士会費納入もイベントペイを導入したらどうか。（村山副会長）

➡現在、職場単位で年会費振り込みが多く、個人で利用した場合、納入率が悪くなるかも。所属施設負担している施設もあり、次年度は現行通りでお願いしたい。（吉井事務局長／財務部長）

協会費との兼ね合いもあるので保留とする。（四方会長）

<その他検討事項>

1) 研修会費について

当士会の企画・運営する研修会は、原則 1,000 円。POS 合同学会など他団体との企画・運営するものについては協議。リハ専門職協議会、ケア専門職協議会主催は、基本無料。

2) 他県士会会員、非会員の取り扱いについて

システム利用料や、申込フォームを「会員/非会員」と分けることができるのかなど確認が必要。

3) 委員の研修会参加費について

委員会に所属するメリットとして、研修会参加費を無料にしたらどうか。（四方会長）

➡委員への周知方法や事務局・委員会としての管理、申告方法など課題あり、継続審議とする。

4) イベントペイの担当について

基本的には事務局が担当。それに伴い事務員の勤務時間数を増やし次年度予算金額を提示する予定。（吉井事務局長）

2. その他

1) 佐渡医療福祉介護提供体制協議会について（四方会長）

佐渡市の PT よりリハ専門職協議会に情報提供と相談。佐渡は医療や介護に携わる人材確保が困難なため数年前に医師会が協議会を立ち上げ、この度法人化することに。今後の体制構築に協力を依頼。協議会としては協力をしていく（加盟）予定。

2) 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会について（四方会長）

災害福祉支援チームのチーム員募集の案内を出しているが、現時点で申込者はなく。理事には、ぜひチーム員の登録に協力いただきたい。

以上

令和3年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和4年1月22日（土）13:00～16:00

会 場：Web開催

出席者：四方、石井、菊入、吉井、能村、伊東、尾崎、
渋谷、佐藤、松岡、山倉、山田（以上理事12
名）水越、横田（以上監事2名）山中（記
録）

欠席者：村山、一ノ本、門脇、北上、小山（以上理事
5名）

I. 協議事項

1. 会員管理について（吉井事務局長）

会員管理について（令和4年1月22日時点）

入会：5名、退会：4名、復会・休会：0名⇒承認
よって1月22日時点での正会員数：1,073名（うち、
休会者数：26名）となった。

2. 令和4年度事業計画・予算案について（四方会長、 吉井事務局長／財務部長）

1) 令和4年度 基本方針について

（1）作業療法の学術的発展への取り組み

Web研修推進が研修参加者増に繋がっている。
ハイブリッド研修を企画し、教育の機会を拡充する。
また、SNSの活用や研修内容のオンデマンド配信で
会員の利便性を促進する。

（2）作業療法の有効活用の促進に向けた取り組み

地域ケア個別会議、特別支援教育、新潟市地域の
茶の間への派遣の継続、ブロック・支部の地域独自
性の模索と推進を図ると共に、地域に合ったサポー
ト体制を整える。

（3）作業療法の普及と啓発に向けた取り組み

リハ専門職協議会、地域包括ケア支援専門職協
会との協業を強め、作業療法士のさらなる認知度の
向上を期待する。

（4）法人運営と管理における取り組み

協会員＝士会員を推進、付随する定款、諸規程の
見直しを行う。事務局業務の整備、研修会費徴収の
ための新たなシステムを導入する。

学術部

（1）学会運営 【支出】8,400円【収入合計】0円

：次年度はPOS合同学会開催のため、次々年度の
県学会の会議費（1回分）の予算のみ計上。

（2）学術誌 【支出】271,826円【収入】17,000円

：年1回発行、論文に関する研修会1回開催。

教育部

（3）現職者共通研修 【支出】205,780円【収入】
50,000円：4テーマの共通研修会開催、10万円程
予算増。

（4）現職者選択研修 【支出】216,040円【収入】
160,000円：年1回の研修会開催。次年度は「精
神障害領域」。

（5）臨床実習推進 【支出】197,400円【収入】
190,000円：年1回（定員：100名）の指導者講習
会を開催。県内養成校の指導者数は、ほぼ充足。

（6）生涯教育 【支出】115,940円【収入】0円
：新入会員向けオリエンテーションを開催。

（7）MTDLP 【支出】254,976円【収入】92,000
円：年3回の研修会、研修内容を動画で配信。

（8）スキルアップ研修 【支出】366,820円【収
入】210,000円：年3回の研修会のうち2回オン
ライン、1回はハイブリッド開催。令和3年度実
施の研修内容をオンデマンド配信するものについ
ては、参加費徴収。配信について、講師了承済み。

広報部

（9）広報 【支出】261,800円【収入】0円：広報
委員会と名称を改めHPとLINE配信を主とする。

（10）公開講座企画実行 【支出】145,800円【収
入】0円：特別公開講座の謝礼金は、POS合同学
会ではなく公開講座からの支出に変更。

（11）Web推進 【支出】435,420円【収入】0円
：ハイブリッド研修関連機材など消耗品購入。
Zoomは金額も高いため業者委託とする。

事業部

（12）地域包括ケアシステム推進①【支出】128,610
円【収入】45,000円/②【支出】315,460円【収
入】20,000円：①は認知症研修に関する予算、②
は県内ブロック事業に関する予算を計上。

（13）地域共生社会推進 【支出】1,186,180円【収
入】1,182,000円：現在の「茶の間」から名称変更。
例年通りの派遣事業のほか、オンラインでの研修
会を1回企画。

（14）特別支援教育 【支出】226,530円【収入】
60,000円：学校支援事業（事例検討・講義）のう
ち講義は学校側から費用負担の予定。

➡放課後デイに関わる作業療法士が増えてきてい
るが、現状はどうか。（菊入副会長）

➡放課後デイとは異なるが、岡山県の講師を招き、
学童・児童クラブ支援に向けた研修会を予定。会
員のほか、施設職員も対象。（伊東理事）

➡PT・STとの足並みもあるが、今後、放課後デイ
への関わりを増やしていければ良いのではないかと。

(四方会長)

→放課後デイは民営で多様なため、支払いなどのやり取りを考えると、平等性確保が困難か。STは学校支援が主で、PTの現状と方向性は、1/25の3士会情報交換会で確認する。(伊東理事)

(15) 障害福祉対策 【支出】52,644円【収入】18,000円：研修会を1回開催。

(16) 福祉用具対策 【支出】89,740円【収入】50,000円：研修会を2回開催。レッツリモコンは生産・販売廃止のため、事業終了。

(17) ITサポート 【支出】42,004円【収入】20,000円：例年通りST士会、新潟市障がい者ITサポートセンターと養成講座を開催。

(18) 精神分野推進 【支出】267,240円【収入】30,000円：情報共有会、リーズニング研修を企画。事業計画書内の略称「にも包括」は正式名称での記載に修正。

(19) 保険 【支出】9,400円【収入】0円：令和4年度診療報酬改定に関するアンケート実施。

(20) 災害対策 【支出】86,340円【収入】0円：次年度、新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会のチーム員研修20名分計上。

(21) 移動支援対策 【支出】92,500円【収入】20,000円：年2回の研修会を開催。

(特1) POS学会 【支出】1,833,200円(変更あり)【収入】360,000円：特別公開講座の講師(吉藤健太郎氏)の謝礼金を60万円→30万円に変更。謝礼金とオリヒメ2台と機器レンタル料(5万円程度)を追加。吉藤氏はオンラインでの講演となり、会場での機器操作役に渋谷理事を予定。

法人会計

(法1) 会員向け広報(朱鷺) 【支出】328,955円【収入】0円：例年通り年3回広報誌「朱鷺」を発行。

(法2) 規約 【支出】1,100円【収入】0円：合同会議の日当のみ計上。

→今後、協会員=士会員実現のため諸々の変更があるので、会議費増額が必要では。(四方会長)

→支出を変更する。(吉井財務部長)

(法3) 倫理 【支出】47,600円【収入】0円：協会との連携、士会の倫理窓口の整備、会員への啓発・周知が必要。理事歴任者を委員とする。

(法4) 表彰 【支出】49,250円【収入】0円：会議費、役員表彰選出者1名分の予算計上。

(法5) 福利厚生 【支出】53,100円【収入】0円：POS学会時の交流会、若手のオンライン交流会

を企画。

(法6) 事務局 【支出】4,862,126円【収入】10,950,000円：次年度、会員名簿作成のための印刷製本費(23万円)、事務員2名の給与(1337時間+684時間)と時間外+a分を追加し、1,845,220円。会員数を1,090名として、収入の予算を立てている。

(法7) 理事・監事 【支出】700,000円【収入】0円：次年度は理事会を6回開催の予定。監事監査は4/16(土)で決定。

(法8) 財務部 【支出】528,200円【収入】0円事業計画・予算案のとおり。

(法9) 総会議事運営 【支出】67,920円【収入】0円：令和4年度定期総会は、6/12(日)燕三条地場産業振興センターを会場に、Web併用開催の予定。

(法10) 選挙管理 【支出】1,100円【収入】0円：合同会議出席の日当のみ計上。

以上、収入総額13,479,000円、支出総額13,449,401円、単年度収支差額29,599円。(公開講座企画実行、POS学会、規約、表彰の4つの委員会の予算額を修正し、次回3月理事会で最終協議。

2) その他

(1) POS学会時の特別公開講座の謝礼金について
吉藤健太郎氏の謝礼金(30万円)は規程外のため、理事会での承認が必要。⇒承認

(2) 研修会開催について
事業計画案に「時期未定」と表記してあるものも予定を作成していく。

II. 報告事項

1. 理事報告(必要事項のみ抜粋して記載)

1) 新潟県自立支援協議会・精神障害者支援体制構築部会(菊入副会長)

門協理事が会議に出席。精神科長期入院者の地域移行を考え、地域に暮らす障害者を支援するため名称変更。アドバイザーとして菊入副会長と門協理事が参加。引きこもり者や未治療者へのアウトリーチ支援の重要性について報告があった。

2) 新潟県福祉保健部との打ち合わせ(四方会長)

通所C地域密着型アドバイザーの選出依頼があり、当会から新潟・佐渡圏域：四方会長、中越圏域：高頭美恵子氏(厚生連 三条総合病院)に決定。

3) 「協会員=士会員」実現のための情報交換会(四方会長、吉井事務局長)

情報交換会を2回に分けて開催、6名出席。協会は2025年から運用を考えているが課題残り難渋。

会員情報に関する覚書締結に関して、総会での決議の必要性について協会からは「最低でも理事会の承認を得ること」とし、各士会の判断に委ねるとのこと。会費は協会に一括納入され、各士会に還付されるシステムとなる。3月理事会で覚書締結について協議、承認されたら、士会が保有する会員情報を協会に送ることになる。

4) 47委員会 (四方会長)

組織率向上について、養成校・協会・士会が連携するモデル士会を作るなどの報告。新たな委員会のあり方について、全国作業療法士連携協議会(略称よんぱち)の案を進め、今後、運営方法の整備に入る。女性会員参画、女性理事や執行部の参画が命題。

5) 学会運営 (能村理事)

10/16(土) 第17回新潟県作業療法学会が全面Web開催にて無事に終了。参加者数190名。

6) 学術誌編集 (能村理事)

実践報告執筆のための研修会には17名が参加。今年度分の発送作業中。

7) 現職者共通研修 (菊入副会長)

事例報告・検討を2月末に開催予定だが演題の集まりが悪い。最終的に8事例の参加申込。

8) 現職者選択研修 (菊入副会長)

12/19(日)に身体障害領域が開催。参加人数40名(うち必修以外6名、県士会員以外5名)

9) MTDLP (石井副会長)

協会の全国推進会議に参加。今年度より「MTDLP室」と組織改編し横断的に取り組むことに。11/21(日)フォローアップ研修会を開催した。

10) スキルアップ研修 (石井副会長)

9/19(日)シーティング研修会(Web)に75名の参加。11/28(日)高次脳機能障害研修には40名の参加。いずれも次年度、オンデマンド配信の予定。

11) 公開講座企画実行 (松岡理事)

全3回(日程は2/8(火)、2/17(木)、2/26(土))。講師は中村美緒氏、1/25(火)に講師と座長で事前打ち合わせ。チラシ配布完了。

12) 企画戦略 Web推進部 (渋谷理事)

Web研修充実のため配信方法などを検討。次年度のZoom契約は業者委託とする。

13) 地域向け広報 (尾崎理事)

高校生向け紹介動画をインタビュー形式で作成。

➡次年度以降、①高校生対象②高校教員を対象③一般住民対象と分けて展開して欲しい。(四方会長)

14) 都道府県士会と協会との情報交換会 (尾崎理事)

11/2(火)石井副会長と協会主催の情報交換会に参加した。士会レベルでの課題は共通点が多い。

15) 地域包括ケア推進 (茶の間) (松岡理事)

10/20(水)実家の茶の間7周年記念行事に東区支部長の石黒美知子氏が出席。

16) 特別支援教育 (伊東理事)

10/3(日)人材育成研修会を開催。11/8(月)燕市教育委員会子育て支援課、12/10(金)柏崎市教育委員会より依頼があった、感覚統合療法等について講演を行った。小児OTマップは今年度中に作成。

17) ITサポート (渋谷理事)

10/24(日)、11/14(日)ST士会とITサポートセンターと共催でIT活用サポーター養成講座を開催。Web開催で機器に触れられなかったが、遠方や子育て世代の方から参加しやすいという意見あり。

18) 精神分野推進 (菊入副会長)

リーズニング研修は1/29(土)開催予定、身障領域や高齢領域からの参加申込も。SIGを立ち上げ、名称を「精神科OTネットワーク@新潟」とした。

19) 災害対策 (四方会長)

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会のチーム員に16名の登録があった。

20) POS合同学会 (四方会長)

大会テーマを「地域共生社会に向けた協働と挑戦」に決定した。県知事や新潟市長、議員も含め、シンポジウムを開催することを検討。

21) 表彰 (山倉理事)

次年度表彰対象者の選出、マニュアル作成中。

22) 福利厚生 (石井副会長)

事業へのニーズ、女性会員の参画についてアンケート実施中。

23) 新潟県リハ専門職協議会 (四方会長)

1/29(土)の花角県知事の県政報告会参加予定。

12/29(水)に災害担当者会議を開催。

2. 事務局報告 (吉井事務局長)

1) 後援依頼3件、いずれも過去に承諾した団体で会長判断により「承諾します」と回答。新潟県医師会からの国民医療を守るための決議の採択については新規依頼の全理事にメールで諮り、反対表明なしのため「賛同します」と回答した。

2) 会費未納者101名に会費納入についての文書を発送、1/6時点で49名が入金済。

3) イベントペイの手続き完了し使用可能。決済セキュリティについては3月の理事会で報告したい。

以上

SAKAimed

急性期からの
ハンドセラピーを
お手伝いします。

* スプリント *

酒井医療株式会社
新潟営業所
Tel: 025-278-4777
www.sakaimed.co.jp

介護用品、レンタル・販売
リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや
悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848
新潟営業所 TEL 025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド
・コミュニケーションエイド・福祉機器
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B
(オーエックス新越)

〒956-0017
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp/

義肢・装具・介護レンタル
ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号

(株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11
TEL 025 281-0303
FAX 025 281-0339

PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー
リハノメ

どこでも学べる 日本最大の講師数
定額見放題 オフライン再生

法人様向け
プランのご用意も
しております

資料請求
好評受付中

リハノメHP
からご請求
頂けます

リハビリテーションを
『かたち』にする会社 **gene**

お問合わせ
はこちら

1ヶ月見放題プラン
通常料金 3,080円が
980円 初回限定

※表記価格は税込み料金です。

キャリア
決済対応!

OT向け
セミナー
続々配信

豪華講師陣をご紹介します

佐藤 彰 先生
作業療法士 / 目白大学保健医療学部
作業療法学科 准教授

山本 伸一 先生
作業療法士 / 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長
兼作業療法課長

お申込はこちらから▶

semnar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611

リハノメ 検索

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.18 2022年 2 月 25 日 発行

発行責任者: 四 方 秀 人

編集責任者: 尾 崎 生

発 行: 公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

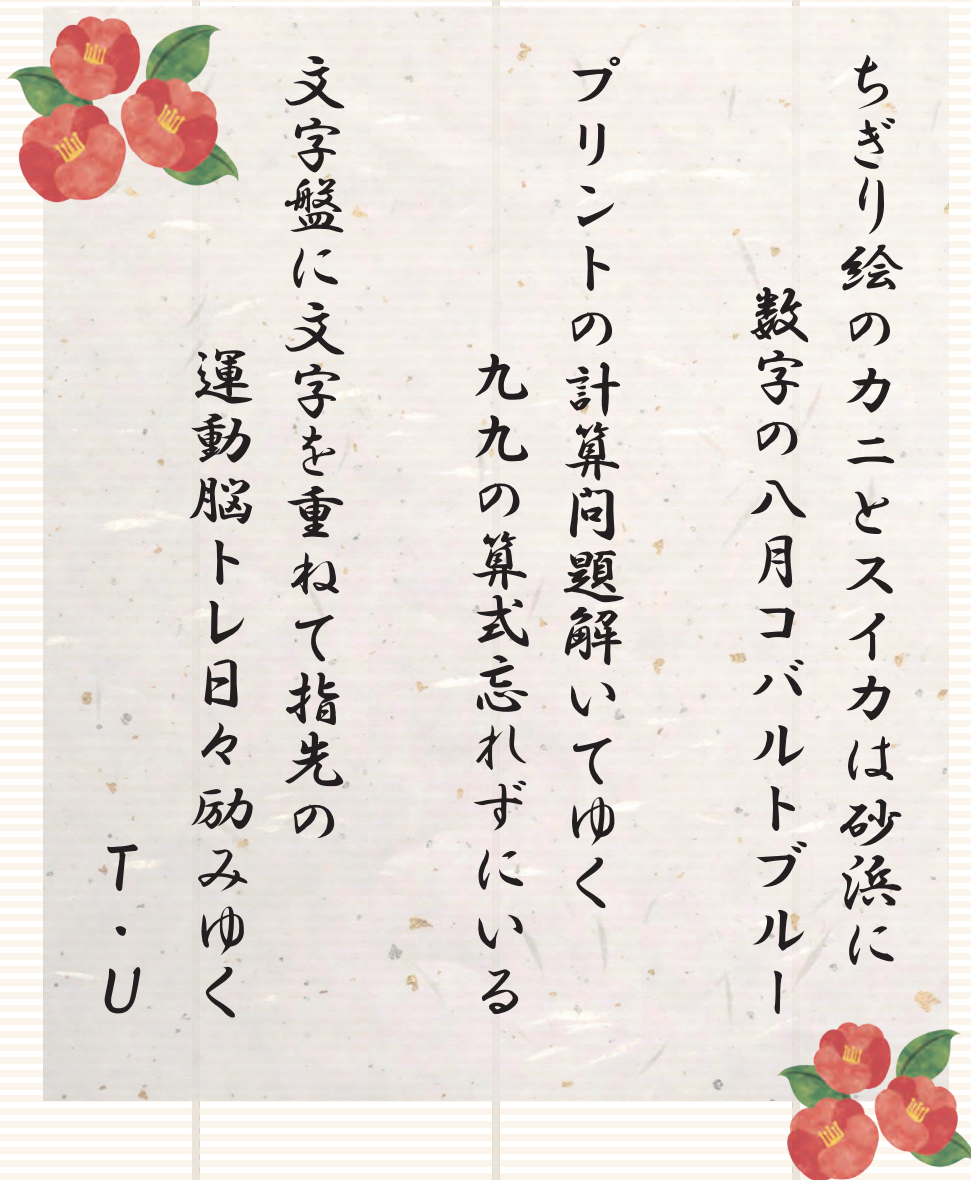
〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷: 株式会社 タ カ ヨ シ

脳神経センター阿賀野病院 リハビリテーション室 より

当院の入院患者様の作品になります。入院以前からの趣味を継続されており、去年には「五頭山の麓に」という歌集を作成されました。その中から数首紹介いたします。



コロナ禍で家族との交流が制限され、寂しい気持ちではありますが、スタッフの一生懸命な姿に日々励まされ、自分自身もリハビリを頑張ろうという前向きな気持ちを歌に込めたとの事です。